



「挑」という言葉に願いを込めて

校長 大石 桂司

暑い暑いと言っていた9月から3か月が過ぎ、寒い寒いに変わりました。早いもので2学期も残すところ12月だけになりました。

さて、この2学期は昨年度までコロナ禍で実施出来なかったり、縮小されたりした行事や体験を思う存分経験させたいと願い計画してきました。それは、経験が子どもたちを成長させてくれるからです。体験や経験を通して、成功すれば達成感を味わい自信へとつながります。また逆に失敗からも同じ過ちを繰り返さないように自分の行動を振り返り、次の機会に生かそうとする学びがあります。こうした意味で、2学期の指導目標は、「子どもたちに任せるところはしっかり任せる。」でした。校外学習や防災訓練、6年生は修学旅行、5年生は稲刈り体験、4年生は未来館学習と多くの経験や体験を重ね、自分の良さや可能性を発見し、成長してくれたと信じています。

話は変わりますが修学旅行で清水寺に行きました。清水寺に向かう途中バスガイドさんから「この清水寺は今年の漢字一文字」を発表される場所であると子どもたちに説明がありました。その時ふと思ったのが、国南小の教育を漢字一文字で表すと何だろうということでした。子どもたちには「チャンス」「チャレンジ」「チェンジ」をキーワードとして話しています。先ほどの漢字一文字を当てはめると「挑」であってほしいと思っています。

さて、冬休みがもうすぐやってきます。子どもたちには自分に合った「挑」を実行してほしいと思います。学習への「挑」。体力向上への「挑」。読書や掃除もちろんOK!冬休み明けにどんなことに挑戦したのか、子どもたちに聞くことを今からわくわくしています。

トイレ改修工事Ⅱ期が始まりました。

夏休みから行っていた東校舎中央トイレの改修が終わり、先週から使用できるようになっています。それに伴い、次は東トイレと西トイレの改修が始まっています。安全のため、東校舎の東階段を通行禁止にしています。工事の音、動線等、ご不便をおかけしますが、ご理解の程、よろしくお願いいたします。



12月の生活目標

「身の回りを美しくしよう。」

国南小では、「時間いっぱい黙って取り組む」ために、清掃前1分間は静かに目を閉じて心を落ち着けてから清掃に取りかかっています。今年も残りわずか、落ち着いた気持ちで心も身の回りも美しくしていきたいものです。

「強めよう絆 なかまづくり月間」



11月は、「絆月間」とし、みんなで人権について考えてきました。それぞれの学年で、道徳や学活、総合的な学習の時間に人権について学習してきました。教室には、一人一人が人権について考えてきたことを掲示しました。また、12月1日(金)「人権を考える日」には各学年の標語や人権についてのDVDを見た感想を聞き合い、多様な意見を知ってほしいと思います。また人権学習についての学習参観も行いますので、お家でも子どもたちから学んだことを聞いていただき、一緒に人権について考えていってもらえたらと思います。

